The 85th Annual Meeting of the Eastern Division of JDA

第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会

会期 2021年9月18日(土)・19日(日)

会長 宇原 久［札幌医科大学医学部 皮膚科学講座 教授］

会場 ロイトン札幌 Royton Sapporo
北海道札幌市中央区北1条西11丁目

演題募集のご案内

演題募集期間 | https://eastjda85.jp/ 学術大会HPからご応募下さい
2021年3月4日(木)正午～4月28日(水)正午



The future is here

事務局長：肥田 時征（札幌医科大学医学部皮膚科学講座 講師）
事 務 局：札幌医科大学医学部皮膚科学講座
〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

運営事務局：公益社団法人日本皮膚科学会内
大会運営部 運営チーム
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4
TEL:03-3811-5079／FAX:03-3812-6790

東部支部開催のご挨拶



わくわくしながら企画を練りました。概要を紹介いたします。招待講演1はUCSFのBastian教授にお願いしました。2018年のWHO分類第4版の分子生物学的変化を紐づけしたメラノーマの新規分類提案者のお一人で、メラノーマの遺伝子異常の世界的な権威です。最新情報をお話しいただきます。招待講演2は私が10年前より手本としてきたReynolds先生にプレゼンテーションの極意を伝授いただきます。招待講演3は本学の松村博文先生が2020年度日本人類学会賞を授与されたテーマであるホモ・サピエンスの拡散について講演いただきます。シンポジウムは薬疹（重症薬疹の疫学、治療、分子標的薬による薬疹、減感作療法）、感染症（抗菌薬の適正使用、高齢者の重症感染症、トリビア）、食物アレルギー（診療の手引き、他科との連携、検査の実際、魚介類のアレルギー）、好中球（基礎、病理、腫瘍性および炎症性疾患のレビュー）、メラノーマ、教育講演は遺伝性疾患を持つ患者さんやご家族との付き合い方、母斑という用語の妥当性、行動経済学の医療への応用、在宅診療の実際、クイズ形式で学ぶ非腫瘍性疾患へのダーモスコピーの応用、皮膚外科と創傷処置の基礎、を取り上げました。今まさに私がお話を聞きたいと思っている先生方にお願いしました。

そして、歌手・竪琴ライアー奏者の木村　弓さんのコンサートを企画しました。ジブリやアイヌに関連した楽曲を披露いただきます。お子様と学会に参加される先生方は是非ご一緒に楽しんでください。

COVID禍が嘘のように過ぎ去って、開放感に満ちたリアルな会議が開催できることを祈っています。学会終了翌日の月曜日は祝日です。9月の札幌でおいしいものを用意して皆様をお待ちする予定です。ご参加をお願いいたします。

第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会 会長　**宇原 久**（札幌医科大学医学部皮膚科学講座）

招待講演 演者のご紹介



招待講演1　Boris C. Bastian, MD, PhD.

WHO分類第4版（2018）でメラノーマの新規分類が提案されました。先生は執筆者のお一人であり、本腫瘍の遺伝子異常について多くのエビデンスを提供しています。

Dr. Boris Bastian received his MD degree and Dr. med degree from the Ludwig-Maximilian University of Munich. After completing a residency in dermatology at the University of Würzburg, he received additional training in dermatopathology and completed a postdoctoral fellowship at the University of California, San Francisco before joining the institution's faculty and starting his research laboratory at UCSF's Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center in 1999. In 2010 he moved to the Memorial Sloan-Kettering Cancer Center to become Chairman of the Department of Pathology. In 2011 he returned to UCSF, where he now holds the title of Gerson and Barbara Bakar Distinguished Professor of Cancer Biology and Professor of Dermatology and Pathology. He founded the Clinical Cancer Genomics Laboratory at UCSF, which performs molecular diagnostics for patients of the Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center. He has clinical responsibilities in the Dermatopathology Section of the Departments of Dermatology and Pathology, where he also oversees the molecular diagnostic laboratory.
Dr. Bastian's research focuses on the molecular genetics of cutaneous neoplasms, with a particular emphasis on the discovery of genetic alterations useful for diagnosis, classification, and therapy. His laboratory has contributed to the discovery of several genetic alterations in melanocytic neoplasia that are relevant for therapeutic and diagnostic purposes and his proposed integrated taxonomy provided the framework for the recently revised WHO classification of melanocytic neoplasms. He served as the President of the Society for Melanoma Research from 2010 to 2013 and has received numerous awards for his work including the election to the German National Academy of Sciences, the Lila Gruber Award for Cancer Research of the American Academy of Dermatology, and an Outstanding Investigator Award of the National Cancer Institute.



招待講演2　Garr Reynolds

プレゼンテーションの世界的な第一人者。1989年にJETプログラムで来日して以来、約30年に渡り日本に在住し、その文化や哲学を研究し続けている。住友電気工業や米アップル社の勤務を経て、スティーブ・ジョブス流のプレゼンテーションに日本文化「禅」を融合させた手法「プレゼンテーションZen」を提唱。シンプルかつ記憶に残るプレゼンメソッドとして名高く、著書「プレゼンテーションZen」は世界20カ国で発売され、35万部以上の大ベストセラーに。その他の著書には『プレゼンテーションZenデザイン』、『裸のプレゼンター』、『シンプルプレゼン』、『世界最高のプレゼン教室』などがある。現在は関西外国語大学にて教鞭をとる傍ら、奈良県立国際高等学校の名誉校長も務め、教育分野におけるプレゼンテーション能力の向上にも励んでいる。米オレゴン州出身、奈良県生駒市在住。



招待講演3　松村 博文

札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 教授

「ホモ・サピエンスのユーラシアへの拡散とアジア人の起源」

1984年北海道大学理学部卒、京都大学霊長類研究所、東京大学理学系研究科を経て現職。専門は人類進化学。人骨の形態の変異や多様性から、ホモサピエンスの進化、移動、拡散、環境適応などのプロセスの解明にとりくんでいる。特にアジア各地の数々の遺跡の発掘調査により発見された先史人骨の研究をもとに、アジアの人類史を復元することをライフワークとしている（その功績により2020年度日本人類学会賞受賞）。

演題募集要項

① 演題募集　一般演題を公募いたします。多数の皆様のご出題、ご参加をお待ちしております。

- **一般口演発表**：口演7分、討論3分（予定）　●**症例報告**：口演3分、討論2分（予定）
- **ポスター展示**：ポスター前のディスカッションは予定しておりません。

学会賞やポスター賞もございますので、奮ってご応募ください。

② 募集期間　下記の第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会Webサイトよりご応募ください。

学術大会Webサイト：**https://eastjda85.jp/**
演題登録受付期間：**2021年（令和3年）3月4日（木）正午～4月28日（水）正午**
応募は、インターネットによる『オンライン演題応募』を原則とさせていただきます。

③ 採否通知　採択通知は受領通知に付記される登録番号をもって、6月中旬頃より大会Webサイトにて公開いたします。演題の採択及び発表時間、発表形式、発表領域等は事務局に一任ください。

お問い合わせ先
第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会　運営事務局
公益社団法人 日本皮膚科学会　大会運営部 運営チーム
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4　TEL：03-3811-5079　FAX：03-3812-6790
E-mail：east85@dermatol.or.jp

プログラム（予定）

会長講演	「The future is・・・」
招待講演	1 Boris C. Bastian（UCSF） 2 Garr Reynolds（関西外国語大学 英語キャリア学部） 3 松村 博文（札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 教授）
教育講演	1 母斑　2 行動経済学　3 在宅診療 4 クイズ形式で学ぶダーモスコピー（炎症性疾患）　5 皮膚外科
シンポジウム	1 薬疹　2 感染症　3 食物アレルギー　4 好中球
その他	●東部支部企画研修講習会 ●東部支部企画「研修医、学生からみた皮膚科」 ●日本皮膚科学会キャリア支援委員会企画 メンターによるメンティー相談会（M&M） ●スポンサードシンポジウム ●東部支部企画CPC　●日本皮膚科学会専門医指導医講習会 ●モーニングセミナー　●ランチョンセミナー　●イブニングセミナー　●企業展示 など
コンサート	9月18日（土）15:45～16:45（予定）
懇親会	9月18日（土）19:15～21:00（予定）

コンサート 演奏者のご紹介





木村 弓［きむら ゆみ / 歌・ライアー］

米カリフォルニア州立大学にてピアノを専攻。1988年に竪琴ライアーに出会い、独自のスタイルの弾き語りを確立。2001年、宮崎駿監督作品「千と千尋の神隠し」の主題歌「いつも何度でも」を作曲して歌い、第43回日本レコード大賞金賞、他を受賞。2004年の「ハウルの動く城」でも、詩人・谷川俊太郎氏と共作した「世界の約束」が主題歌に起用される。これまでに7枚のアルバムを徳間ジャパンコミュニケーションズよりリリース。

中川 俊郎［なかがわ としお / ピアノ］

1958年東京生まれ。桐朋学園大学作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子各氏に師事。「Music Today '82」国際作曲コンクール第1位、第28回中島健蔵音楽賞、他受賞多数。日本作曲家協議会常務理事、お茶の水女子大学非常勤講師。

今年9月18日に札幌で皆様に歌、演奏をお届けできることを楽しみにしております。今、地球規模で多くのチャレンジに直面している私たちではありますが、そのような中でも、音楽を通して、心温まるひと時を皆様とご一緒に過ごすことができればと願っております。

日程表

※2021年2月現在の予定です。テーマ·タイトルは仮題です。

第1日目 2021年(令和3年)9月18日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
9:00		開会挨拶・講演					
10:00	シンポジウム1 薬疹 末木 博彦、阿部 理一郎、芦田 敦子、山口 正雄	シンポジウム2 感染症 山崎 修、内田 秀昭、沢田 泰之、浅井 俊弥	一般演題				
11:00							
12:00	招待講演1 Boris C. Bastian						
13:00	記念写真撮影、次期会長挨拶	ランチョンセミナー					
14:00		招待講演2 Garr Reynolds	シンポジウム3 食物アレルギー 海老澤 元宏、矢上 晶子、澄川 靖之、中村 陽一	一般演題			
15:00		教育講演1 母斑 櫻井 晃洋、村田 洋三					東部支部企画 「研修医、学生からみた皮膚科」
16:00	コンサート 木村 弓、中川 俊郎						
17:00		教育講演2 行動経済学 江口 有一郎、大塚 篤司	スイーツセミナー		専門医指導医講習会	日本皮膚科学会 キャリア支援委員会企画 メンターによるメンティー相談会 (M&M)	
18:00		イブニングセミナー					イブニングセミナー
19:00							
20:00	懇親会						

第2日目 2021年(令和3年)9月19日(日)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
8:00	モーニングセミナー				
9:00					
10:00	シンポジウム4 好中球 山本 俊幸、阿南 隆、箕輪 智幸、川上 民裕	教育講演3 在宅診療 袋 秀平、堺 則康	スポンサードシンポジウム メラノーマ	一般演題	
11:00		東部支部企画CPC 「大学間の垣根を越えたCPC」			
12:00	招待講演3 松村 博文				
13:00	ランチョンセミナー				
14:00	教育講演4 クイズ形式で学ぶダーモスコピー (炎症性疾患)	教育講演5 皮膚外科 竹之内 辰也、前川 武雄			
15:00	田中 勝、古賀 弘志			令和3年度 日本皮膚科学会 東部支部企画研修講習会	スペシャリティナース講習会 (ビデオ講演)
16:00					
17:00					